

2026 年 10 月 14 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 P R I S M B i o L a b
代 表 者 名 代 表 取 締 役 竹 原 大
(コード番号：206A 東証グロース市場)
問 合 せ 先 管 理 部 マ ネ ー ジ ャ ー 安 藤 幸 司
(TEL. 0466-53-8383)

PRI-724 の肝硬変患者を対象とした第Ⅱ相臨床試験の進捗に関するお知らせ

当社が 2008 年に見出した CBP/ β -カテニン相互作用阻害剤(*1)である PRI-724 (一般名：ホスセンビ
ビント、大原薬品化合物コード：OP-724、以下、「PRI-724」という。)は、2018 年 5 月に大原薬品工業
株式会社 (本社：東京都中央区、代表取締役社長 CEO：大原 誠司、以下、「大原薬品」という。)にガ
ン以外の分野における導出契約を締結いたしました。大原薬品は AMED (国立研究開発法人日本医療研究
開発機構) の CiCLE 事業 (医療研究開発革新基盤創成事業) の支援を受け、現在、非代償性肝硬変患者
(*2)を対象として第Ⅱ相臨床試験が進められております。

この度、当社は、大原薬品より、現在実施中の第Ⅱ相臨床試験の進捗に関して報告を受けましたの
で、以下のとおりお知らせいたします。

本第Ⅱ相臨床試験では、これまでに第Ⅰ相及び第Ⅱa 相臨床試験の成績が得られている C 型肝炎及び
B 型肝炎ウイルスに起因する非代償性肝硬変患者を対象としたコホート A に加え、MASH (*3) に起因す
る非代償性肝硬変患者における PRI-724 の用法及び用量、有効性及び安全性を探索的に評価することを
目的としてコホート B を設定し、多施設共同、プラセボ対照、無作為化二重盲検比較による第Ⅱ相臨床
試験を実施しております。

今回、大原薬品より報告を受けたのは、コホート B の試験成績です。

コホート B では、登録された 35 例を対象に、PRI-724、若しくはプラセボを週 2 回、24 週間投与し、
有効性及び安全性を評価しました。その結果、PRI-724 群はプラセボ群に対して、主要評価項目である
Child-Pugh スコア(*4)の有意な改善は認められませんでした。

コホート B につきましては、MASH に起因する非代償性肝硬変患者に対する PRI-724 の有用性を探索的
に評価した結果であることから、当該結果のみをもって、C 型肝炎及び B 型肝炎ウイルスに起因する非
代償性肝硬変患者を対象として継続中のコホート A の評価結果や、PRI-724 全体の開発可能性を直接否
定するものではないと考えております。

肝硬変は、肝臓の線維化が進行することにより不可逆的な肝機能障害を引き起こす疾患であり、現在
においても病態そのものの改善を目的とした有効な治療薬が存在しないアンメット・メディカル・ニー
ズの高い疾患です。

大原薬品は今後、試験結果の詳細な解析を進めるとともに、コホート A を対象とした第Ⅱ相臨床試験
を継続して参ります。当社は引き続き、大原薬品による PRI-724 の開発を支援して参ります。

なお、本件に伴う当社業績への影響はありませんが、今後開示すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

以 上

<用語解説>

(*1) CBP／ β -カテニン相互作用阻害剤 (PRI-724)

Wnt シグナル伝達経路は、ガン、線維化などを制御するタンパク質のネットワークであり、創薬標的として広く研究されています。従来の技術で開発されてきた Wnt 阻害剤は Wnt シグナルを上流から全て止めてしまうため強い毒性を示して開発が中止されてきましたが、PRI-724 はそのような毒性を示すことなく治療薬として必要な安全性を可能とするコンセプトのもとで創出された化合物です。

PRI-724 は、CBP と β -カテニンの結合を阻害しつつも CBP と似た別のタンパク質である P300 とは結合しないため、 β -カテニンと P300 による Wnt シグナル経路は機能します。その結果、Wnt シグナル全体の機能を止めることなく、「ガン化」「線維化」を止めることが可能となります。

(*2) 非代償性肝硬変

肝硬変が進行し、黄疸、腹水、肝性脳症、消化管出血などの症状や合併症が出現した状態を指します。肝機能が十分に維持されている代償性肝硬変よりも重症の病態です。

(*3) MASH (Metabolic dysfunction-associated steatohepatitis)

代謝機能障害に関連する脂肪肝炎を指します。脂肪肝に炎症や線維化を伴い、進行すると肝硬変や肝ガンの原因となることがあります。

(*4) Child-Pugh スコア

肝硬変患者の重症度及び肝機能を評価する指標です。血液検査結果や腹水、肝性脳症の有無などに基づいて評価されます。